

平成30年度 日本大学スポーツ科学部個人研究費 研究実績報告書

所属: スポーツ科学部 競技スポーツ学科

資格: 助教

氏名: 原 怜来

研究課題		オープンウォータースイミング選手の最大酸素摂取量について
報告の概要	研究目的及び研究概要	<p>研究目的 オープンウォータースイミング(以下、OWSと記載)は海等の水辺で泳ぐ速さを競う競技で、2008年北京五輪からオリンピック正式種目に採択された。レースのスピード化が進んだ現在の選手の生理学的特性は明らかとなっておらず、その選手のトレーニング効果の評価としても経時的に選手特性を明らかにしている研究はない。そこで本研究では、現状のOWSエリート選手の最大酸素摂取量を明らかにすることを目的とした。</p> <p>研究概要 OWS強化選手を対象に流水プールにおいてクロール泳で最大酸素摂取量を測定する。測定はダグラスバック法を用いて漸増負荷法で行う。得られた呼吸ガスから最大酸素摂取量を算出する。</p>
	研究成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本キャンパスにおける流水プールで最大酸素摂取量を測定できる環境を整えることができた。</li> <li>・OWS選手を含む本学水泳部を対象に最大酸素摂取量を測定し、学会発表・論文投稿を行った。</li> <li>・リオ五輪代表を含むOWS強化選手の最大酸素摂取量を測定できた。</li> </ul>
研究業績	<p>・論文および著書</p> <p>著者名・論文標題・雑誌名・査読の有無・巻・発行年・ページ数</p>	①論文:原怜来, 鈴木典, 上野広治「大学水泳選手の学年, 専門種目, 専門距離からみた酸素摂取量の違いについて」スポーツ科学研究、査読有り
	<p>・学会発表等</p> <p>発表者名・発表標題・学会名・発表年月日・発表場所</p>	①学会発表:小池詩音, 川原春海, 戸崎祐, 黒部一斗, 中島大賀, 原怜来, 上野広治「本学水泳部の最大酸素摂取量について」、桜門体育学会、2019年1月27日、日本大学。
	<p>・その他</p> <p>*学会・競技団体報告書など 著書名・標題・掲載誌名 発表年月・発行所 *講演会, 研究会, 研修会, セミナー等での講演発表 発表者・発表年月・題目名・講演会名 *社会貢献活動等</p>	<p>①社会貢献活動:公益財団法人日本水泳連盟科学委員(OWS強化指定選手のデータを測定し、コーチ・選手に提供)、2018年4月～2019年3月。</p> <p>②社会貢献活動:公益財団法人日本水泳連盟オープンウォータースイミング委員(OWS強化指定選手のデータをもとに、コーチと強化方策について検討・実践)、2018年4月～2019年3月。</p> <p>③社会貢献活動:公益財団法人日本オリンピック委員会強化スタッフ(マネジメント、情報・戦略スタッフ)(OWS強化指定選手のデータを測定)、2018年4月～2019年3月。</p>